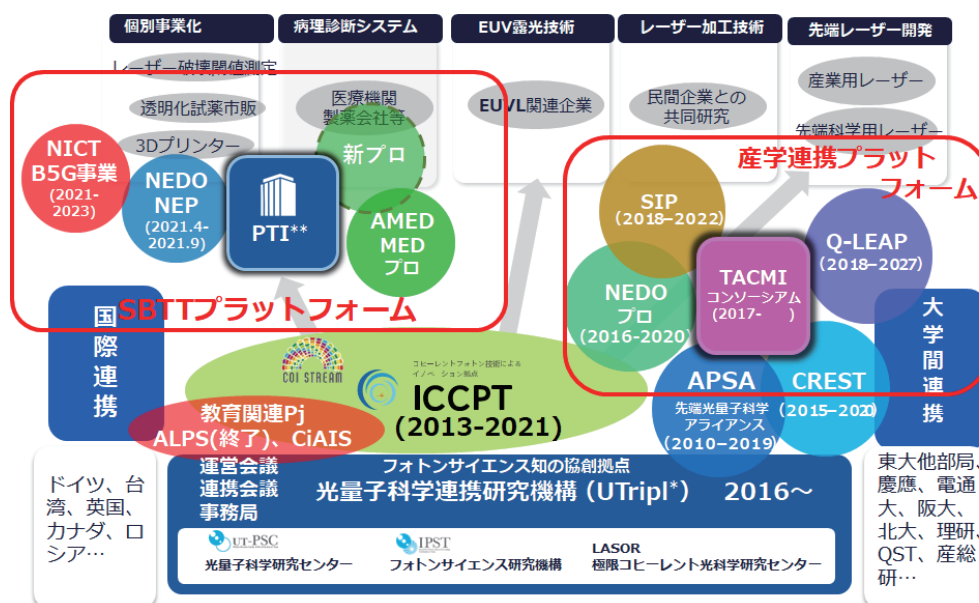


自立・持続可能なプラットフォームの構築

イノベーションプラットフォーム「知の協創プラットフォーム」を構築。社会の課題解決に取り組む企業と、大学で生み出される新しい知との間を連続的につないでいくために、リソースプールを構築する多数の活動を取り込んでいます。知の協創プラットフォームは、光量子連携研究機構（UTripl）の活動を中核とした COI 拠点を基盤として、TACMI コンソーシアムを中心とした「産業連携プラットフォーム」と、大学発ベンチャー企業（PTI）とそれを支えるプロジェクトによる「Small Business Technology Transfer (SBTT) プラットフォーム」で構成され、これらが有機的に繋がる組織を目指しています。また、共同研究設備制度を発足させる等、財政的基盤の安定化に努めています。



* UTokyo Research Institute for Photon Science and Laser Technology
** フォトンテックイノベーションズ株式会社

・知識集約型ものづくり → 学理 CPS 型レーザー加工へ

「産業連携プラットフォーム」では、レーザー加工の学理に基づいた計算により加工結果の予測を行う、学理 CPS 型レーザー加工シミュレータを開発しています。COI で概念実証を行い、成果を Q-LEAP に移管して完成させる予定です。

